ソード

システムエンジニア



K.O さん

**ソフトウェア+ハードウェアの開発で
お客さまの望みをかなえます。**



勤務地：千葉県千葉市
美浜区

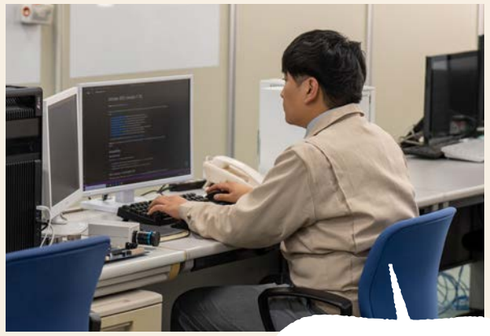
文:遠山彩里

パソコンや、その周辺機器など、目に見える機器のことをハードウェアといい、パソコンやさまざまな機器を動かすプログラムを、ソフトウェアといいます。50 年間、ハードウェアとソフトウェアの両方の開発を行っているソードで、ソフトウェアのシステムエンジニアとして働く K.O さんに、お話をうかがいました。

Q この会社でどんな仕事をしていますか？

ソードは、企業が使うパソコンの販売、製造、保守（正常に保つこと）を行っている会社です。一般的な家庭にあるパソコンとはちがい、例えば医療機器で体の検査をする MRI や CT スキャンなどの機械に組み込まれるものも扱っています。当社は、お客さまの「開発部隊」になるような企業を目指していることもあり、ただ依頼されたものをつくるのではなく、どういった製品にするかをお客さまと相談して、一緒につくり上げていくようにしています。

私は、システムエンジニアとして働いています。私の所属する部署ではおもにソフトウェア開発を行っていて、そのなかで私は自社が製造する機器の機能検査などを行うプログラムの開発と、その保守を行っています。機能検査とは、製品に搭載されるさまざまな機能が正常に作動するかどうかを実際に動かしたり、プログラムをつかって確認したりする検査のことです。例えばパソコンであれば、データを保存する部品が、きちんと動作するかを検査しています。



自社製品の機能検査用のプログラムを作成する。

作成した検査プログラムで、実際に製品の検査を行う。







K.Oさんが検査を担当している、ソードの主力製品。



Q どんなところにやりがいを感じますか？

自分がプログラムを書いて、それが実際に希望通りに動いたときは、もっているものを投げ出すくらいの喜びを感じます。そして、とても尊敬している先輩方におほめの言葉をもらったとき、やりがいを感じます。入社したてのころは、自分が正解だと信じたロジック（論理）の誤りを指摘されたり、もっと効率がよいロジックを提案されたり、なかなか結果を出せませんでした。でも失敗や経験を経て、自分がつくったプログラムや考えたロジックを「それいいね」や「早くできたじゃん」などと評価してもらえたときに、やってよかったなと感じましたね。

K.Oさんのある1日

09:00	出勤。メール、スケジュールの確認。
09:15	プログラミング作業。
12:00	昼食。
13:00	社内会議。議事録のまとめ。
14:30	プログラミング作業。
16:00	チーム内会議。
17:00	週報の作成。提出
17:30	退勤。

K.Oさんの夢ステップ

小学校 漫画家

漫画を読むことも、描くことも好きだったから。

↓

中学校 パソコン関係の職業

パソコンが好きだったから。

↓

高校 パソコン関係の職業

パソコンが好きだったから。

↓

大学 パソコン関係の職業

パソコンが好きだったから。

Q

なぜこの仕事を目指したのですか？

小学生のころは、家に漫画がたくさんあった影響で漫画を描くのが好きで、漫画家にあこがれていました。しかし中学生になったときに、システムエンジニアである父が家のパソコンを買い替えて、古いパソコンを使わせてくれたんです。そのときからパソコンに触るようになって、YouTube を見たりオンラインゲームをしたりと、携帯電話よりもパソコンで遊ぶことが多くなりました。そのころから、将来はパソコンに携わる仕事に就きたいと思いはじめ、高校生のころにはアルバイトで貯めたお金で、自作のゲーム用のパソコンをつくっていました。その気持ちのまま大学は情報通信システム科という学科に進み、通信系の勉強をし、就職活動を始めた大学 3 年生のころ、現在勤めているソードの企業説明会に参加しました。私は、自分のやりたいことができるアットホームな会社に就職したいと思っていたのですが、説明会に来てくれた社員の方が、とても楽しそうに会社の説明をしているのに好感をもち、なによりも社名の通り（ソフト + ハード = ソード）ソフトとハードの両方を事業として行っている、パソコンに関係する仕事の大半を経験する事のできる会社というのが魅力的で、当社を志望しました。

Q

どうして千葉で働こうと思ったのですか？

私は、千葉県の松戸市出身で、今も松戸に住んでいます。松戸駅って朝の電車がすごく混むんですよ。学生時代も何度か乗ったことがあるんですけど、人混みが苦手なので、これは毎日乗りたくないなと思い、千葉県内の会社に勤めようと思いました。ただ、今は趣味のバイクで通勤しているので苦もなく、むしろ千葉はツーリングで夜の湾岸や幕張の夜景を楽しめるのでおすすめです。東京よりも人混みが少ないので、私にとっては過ごしやすいのが千葉の魅力ですね。

Q

仕事で壁にぶつかったときどうやって突破しますか？

この仕事って、壁が多いんです。というのも、我々が知っているのはプログラムの書き方であって、最初からどうプログラムをつくればいいのか、答えを知っているわけではないんです。なので、わからないことがあるときは、インターネットで情報を集め、得られた情報を必ず自分で試して、その検証結果が得られた情報と一致するかを確認します。それでも解決できないときは、要点をまとめて先輩に質問します。よく言われる「悩む前に、まずは聞く」という事も大切だと思いますが、調べる力を身につけるために、たくさん調べて悩むことも、システムエンジニアの経験としては大切だと思っています。

m y tools



デスクワークがメインのため、キーボードやマウスは手になじむものを使用。ドライバーは、ハードウェアのフタを開ける際などに使う。

Q

この仕事はこれから、どのようにアップデートしていきますか？

システムエンジニアのようにパソコンを使う業務は、これからどんどん効率化を図っていく時代になると思います。プログラムや IT 系の分野で働いてる人たちは、つねにアンテナを張って、新しい情報や技術が出たらすぐに調べることが必要になります。なので今後大切なことは、IoT の導入や、それにともなうビッグデータ※の増加など、時代の流れを読み、その技術を先取りすることだと思います。必要になる技術の需要の変化を読み、事前にその技術の習得や、概念の理解を深めていくなどして、世の中の流れの先頭に立つような人材を目指すことが、自身の成長、仕事のアップデートにつながると思います。また、技術職に性別は関係ないので、今後は「私はこういう技術をもってるからこういう仕事をしたい」と、自信をもって飛び込んでくれる方が増えるとうれしいですね。



困ったことや、自分で解決できない壁にぶつかったときは、先輩方に相談をする。



中学時代はサッカー部に所属。「当時はサッカーばかりしていました」というK.Oさん。

Q

この仕事を目指すなら、今、何をすればいいですか？

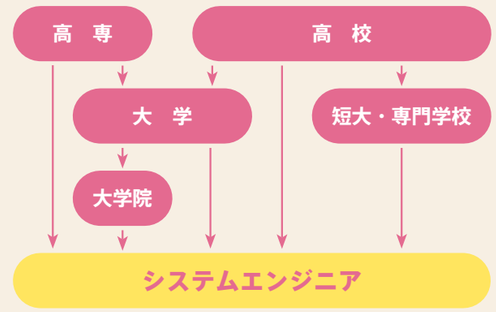
システムエンジニアの仕事が気になっていて、今何をすればいいか悩んでいる人は、まず学校の授業で「情報」の分野に慣れ、興味を伸ばし、自分がどんな分野に関心をもっているかを明確にした上で、プログラミング学習に取り組んでみてください。情報はこの先、大学入試の科目に追加されるため、必須の知識となるはずです。この先の時代「情報」という分野は、あらゆるビジネスにおいて必要となる分野なので、ぜひ学習してみてください。また、これはどの仕事にも当てはまりますが、目指す職種 = 自身が好きなものに関係することが多いので、その“好き”を見つけて、伸ばしてほしいです。好きなものをより深く突き詰め、研ぎすまし、育て上げた武器を存分に活かせるように、“好き”を実行していってください。

Career Path Overview

システムエンジニアとして勤めるには？

システムエンジニアを目指す場合、独学でも不可能ではありませんが、IT 系の学部や学科のある大学や専門学校へ進学し、専門的な知識や技術を学ぶことが近道です。また、必須となる資格はありませんが、取得しておくと有利な資格として、国家資格である「基本情報技術者試験（FE）」や「応用情報技術者試験（AP）」などがあります。

情報やプログラミングの授業に意欲的に取り組み、パソコンに触れる機会を増やすとよいでしょう。



※ビッグデータ⇒人間では全体を把握することが難しい巨大なデータ群。
※この進路は一例です。企業によって求められる資格や、学歴はちがいます。また高専や短大から大学院に進学するなど、実際の進路はより多様となっています。